

「はる」の意味分析

著者	藤森 秀美
雑誌名	名古屋学院大学論集 言語・文化篇
巻	23
号	1
ページ	63-71
発行年	2011-10-31
URL	http://doi.org/10.15012/00000507

「はる」の意味分析

藤 森 秀 美

要旨

本稿は「はる」の意味分析である。

本稿では、「はる」を多義語¹⁾であるにとらえ、14の意味に分けて分析し、多義構造を示した。「はる」は自動詞と他動詞が同形である。そのため本稿では自他それぞれを分析した。自動詞「はる」は起点となる意味から、4つの意味が派生、他動詞「はる」は起点となる意味から、8つの意味が派生しており、それを動機づけるのはメタファーであるという仮説を示した。

キーワード：多義語、メタファー

0. はじめに

本稿の目的は「はる」の意味を分析し、その多義構造を明らかにすることである。

以下、本稿の構成について述べる。1節では、先行研究をとりあげ、その問題点を指摘する。2節では、意味分析をする際に援用する概念について述べる。3節では、別義を示し、例文を挙げ、多義語である「はる」の意味分析を行う。4節では、別義を再掲し、別義間の関係を図によって示す。5節では本稿のまとめを行う。6節では今後の課題を述べる。

1. 先行研究

本節では、「はる」の先行研究として、辞書類と国広(2006)をとりあげ、その記述内容を検討する。

『日本語基本動詞用法辞典』では、次の12の意味が挙げられている。

①何かが一面に広がる。②体のある部分が固くなったり、ふくれたりする。③気持ち・欲望が外に満ちあふれる、または、胸・ひじを高く広げる。④物の値段が高い。⑤ある場所に液体を入れて満たす。⑥一面に広げるようにして、網や布などを掛け渡す。⑦ひも状の物のある場所にたるみなく伸ばす。⑧何かの表面にぴったりくっつける、または、そのようにして表面を覆う。⑨手で相手の顔を打つ。⑩ある場所に活動の拠点を構える。⑪ある地位を守って維持していく。⑫犯罪者や敵の動きを近くで見張る。

別義としてとりあげられる基準がわかりにくく、別義間の関係も明示されていない。また、「はる」は自動詞と他動詞が同形であるが、それを区別していない。

国広（2006）は国語辞書の意味記述をもとにして「はる」の意味を12に分類し、多義構造の図を示している。自動詞の用法、他動詞の用法に分け、基本義から派生した別義を「結果状態」「比喩的」「痕跡表現」に分け、そこから派生した意味を更に3乃至4に分けている。

基本義から別義が派生したのは比喩が動機づけになっているとする点は評価できる。しかしそれは一部の別義にとどまる。本稿では、基本義からの別義の派生はメタファーという比喩がすべての動機づけとなっていると考える。

また国広（2006）は国語辞書の記述をもとにしているため、用例が古く、現代語としてほとんど用いられないものや、慣用句などが、重点を置いて分析されている。一方、現代語として分析すべき用例にあたっていない。

2. 援用する概念について

本稿では、「はる」を多義語として分析するが、分析する際に、レトリックの概念であるメタファーを用いる。

メタファーについては、靱山（2001）の以下の定義に従う。

メタファー：二つの事物・概念の何らかの類似性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

3. 分析

「はる」は、「張る」や「貼る」と漢字表記される。本稿では靱山（1994）に倣い、漢字表記の違いは必ずしも意味の違いには結びつかないと考え²⁾、「張る」と「貼る」を区別せずに考察する。

本節では、「はる」を14の別義に分け、考察する。まず、分析結果であるそれぞれの別義を示した上で、例文を挙げ、説明していく。別義1から別義9までは他動詞、別義10から14までは自動詞である。

別義1：〈ある点から物体を四方へ広げる〉³⁾

- (1) 苗木は地中に根を張って生きている。

(http://www.pref.ehime.jp/060nourinsuisan/080ringyou/00001461021016/5_guide/naeki2.pdf)⁴⁾

- (2) クモはよく晴れた時を狙って、巣を張る。

(<http://matome.naver.jp/odai/2130734180948947601/2130734536149050203>)

上の例は、木の幹から四方に根が広がる様子、その下の例は、クモが巣をかける様子である。いずれもある1点から周囲へ放射状に広がっている。本稿では別義1を他動詞の基本義であるとする。

別義2：〈平面状の物の中心から四方へ力をかけ広げる〉

- (3) キャンプ場以外で、テントを張って、キャンプしたり寝たことはありますか。
(<http://questionbox.jp.msn.com/qa521275.html>)
- (4) イベントや催し物のときに、紅白幕が張ってあると、なんだかもうそれだけでおめでたい気分満載になりますよね。
(<http://www.redandwrite.com/>)

別義1では、特に力は意識されていないが、別義2では周囲へ及ぶ力が感じられる。別義2は別義1からメタファーによって拡張したものである。

別義3：〈線状の物の中心から両端へ力をかける〉

- (5) 木々の間にロープを張って、一日だけの簡易ブランコを作ってみました。
(<http://shin.twinkle.net/play/asobi2.html>)
- (6) 押し入れからギターを取り出して弦を張ろう
(<http://country-blues.seesaa.net/article/71333457.html>)

家屋の屋根の下に使われる木材がある。それは「梁」という漢字が用いられるが、これは「はる」からきていると考えられる。横に渡した木が建物の荷重を支える役目をしているからだと思われる。



図1 梁

別義2では、平面状の物であるが、別義3では線状になっている。別義3は別義2からメタファーによって拡張したものである。

別義4：〈体の一部を強調し、大きく見せる〉

- (7) 平凡なファッションでも、胸を張ればシャープなファッションにみえてしまいます。
(<http://www.happylifestyle.com/article/191-18>)
- (8) 最も効果的な防犯グッズは何か体を張って検証してみた
(<http://youtube-spot.com/archives/3110.html>)

上の例は、胸を若干突き出すようにして、大きく見せること、その下の例は、通常の状態の体を大きくして、本来の能力より高い能力を出すことである。別義4は別義2からメタファーによって派生した意味である。

別義5：〈大きいことをする〉

- (9) 22歳で任侠映画の主演を張った藤純子は、全国から拍手喝采で受け入れられ不動の人気を獲得する。

(<http://www.nihoneiga.info/classic/0003/01.html>)

- (10) 今場所の相撲大会で、北星山さんが四場所ぶりに横綱を張った。

(<http://lang-8.com/241257/journals/846620>)

主演は俳優にとって大きいことである。また力士にとっても横綱になることは大きいことである。これは別義4からメタファーによって拡張した意味である。

別義6：〈容器の中に液体を満たす〉

- (11) 田んぼに水を張って大阪を冷やそう

(http://www1.odn.ne.jp/afn-minamikawach/04/mizuhari_tanpi.html)

- (12) お風呂に日本酒でお湯を張って浸かりたい

(<http://twitter.com/#!/officeu/status/18982844804>)

例えば、庭先のホースから水が出ている場合、水はホースの先から広がり地中に吸い込まれてしまう。しかし、ホースの先がバケツなどの容器に入っていた場合はバケツに水がたまる。別義1では放射状に広がるのは「根」や「巣」であるが、別義6では容器の中の液体になっているのである。

別義6は別義1からメタファーによって拡張したものである。

別義7：〈空間の中に気体を拡散させる〉

- (13) 忍者はたえず風を意識して、敵と対するときは風上に立ちました。煙幕を張って逃げたりするには、風上側にいなければ効果がないからです。

(<http://www.tdk.co.jp/techmag/ninja/daa00890.htm>)

別義6の容器が空間に、液体が気体になっている。別義7は別義6からメタファーによって拡張したものである。

別義8：〈周りに感情を拡散させる〉

- (14) 人間は自分をよりよく見せようと、ついつい見栄を張ってしまう生き物。
(<http://thinking.shiawasehp.net/35mie.html>)
- (15) 我を張って、言葉で勝って、ささやかな自己満足を得るより、楽しい話し方を身につけた方がよほど価値があります。
(<http://www.jikojitugen.jp/kouza/lesson11co.html>)
- (16) また大人になってまで、どうしてバレバレな虚勢や見栄を張るのか？
(<http://okwave.jp/qa/q5660969.html>)
- (17) 素直に「はい」と言えないから強情を張るのです。
(<http://www.jikojitugen.jp/kouza/lesson11co.html>)

別義7の液体が、見栄、我、虚栄、強情等の感情になっている。別義8は別義7からメタファーによって拡張したものである。

別義9：〈平面状の物を広げ、片面を密着させる〉

- (18) 壁にポスターを貼ろうと思っているのですが、いざとなるとどう貼っていいのかわかりません。
(<http://oshiete.goo.ne.jp/qa/1620873.html>)
- (19) たくさん手紙を出すとき、ひとつひとつ切手を貼るのは大変ですね。
(<http://post.nmonmo.com/kitteharumendou.htm>)
- (20) 「安く・見栄え良く」をモットーにベニヤ板を張ることにした。
(<http://www.takerusoftware.no-ip.com/microcar/garage/page3/index.htm>)
- (21) 中心線と平行にタイルを貼っていきます。
(<http://www.tile-outlet.net/hpgen/HPB/entries/14.html>)

上の2例では別義2で感じられた、力があまり感じられなくなっている。下の2例ではすでに力が感じられない。別義9は別義2からメタファーによって拡張したものである。

別義10：〈ある点から物体が四方へ広がる〉

- (22) おじいちゃんによれば、しっかり根が張っている古い木はいいけれど植えたばかりの木は根の張りが足りないから枯れてしまうのだそうです。
(<http://www.ms1.mctv.ne.jp/hkurobe-syoubou/oshirase.html>)
- (23) たっぷりとした手入れされた枝が張っている。

(<http://ncode.syosetu.com/n9427l/42/>)

本稿では別義10を自動詞の基本義であるとする。また、別義10は他動詞である別義1に対応している。

別義11：〈物体が平面状に広がる〉

(24) いつもの池。氷が張っている。

(<http://falmouthme.exblog.jp/9903417/>)

(25) 気温も低く一番乾燥している季節なので、すぐ湯葉が張ってしまうのです。

(<http://nogutihiroaki.seesaa.net/category/2559487-1.html>)

別義10は一点から周囲に広がる様子を表すが、別義11は元となる一点が存在しない。別義11は別義10からメタファーによって拡張したものである。また、別義11は他動詞である別義2に対応している。

別義12：〈平面状の物の中心が盛り上がるようになり四方へ力がかかる〉

(26) 特に便秘でもないのにおなかが張る。

(<http://womanpower.himegimi.jp/13.html>)

(27) オナカが空いている時でもずーっと胃が張って仕方ありません。

(<http://oshiete.goo.ne.jp/qa/120370.html>)

別義11は特に力は意識されないが、別義12には周囲へ及ぶ力が感じられる。別義12は別義11からメタファーによって拡張したものである。また、別義12も他動詞である別義2に対応している。

別義13：〈体の一部が強調され、大きく見える〉

(28) 私もエラが張っていて困ってます。

(<http://www.casphy.com/bbs/test/read.cgi/kogao/1230904399/150>)

(29) 腰骨が張っているせいでお尻が大きく見えてしまいます。

(http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q101215610)

別義13は別義12で感じられる周囲へ及ぶ力は感じられない。別義13は別義12からメタファーによって拡張したものである。また、別義13は他動詞である別義4に対応している。

別義14：〈抽象物が大きくなる〉

- (30) 新鮮で美味しい毛ガニのギフト。値が張るけれどその分相手に感謝の気持ちがハッキリと伝わるでしょう！

(<http://myonecashing.com/entry8.html>)

- (31) やや値は張るが、食べてみて納得な美味しいお蕎麦

(<http://tabelog.com/tokyo/A1310/A131003/13000604/dtlrvwlst/2853926/>)

別義13では具体物であったが、別義14では値段という抽象的なものが大きくなっている。別義14は別義13からメタファーによって拡張したものである。また、別義14は他動詞である別義5に対応している。

4. 「はる」の多義構造

本稿で明らかになった別義とその例文を以下に再掲し、図によって多義構造を示す。

4.1 「はる」の別義

別義1：〈ある点から物体を四方へ広げる〉

- (1)' 木が地中に根を張る⁵⁾。

別義2：〈平面状の物の中心から四方へ力をかけ広げる〉

- (4)' 紅白幕を張る。

別義3：〈線状の物の中心から両端へ力をかける〉

- (6)' ギターに弦を張る。

別義4：〈体の一部を強調し、大きく見せる〉

- (7)' 胸を張る。

別義5：〈大きいことをする〉

- (9)' 主役を張る。

別義6：〈容器の中に液体を満たす〉

- (12)' お風呂にお湯を張る。

別義7：〈空間の中に気体を拡散させる〉

- (13)' 煙幕を張る。

別義8：〈周りに感情を拡散させる〉

- (14)' 見栄を張る。

別義9：〈平面状の物を広げ、片面を密着させる〉

- (18)' 壁にポスターを貼る。

別義10：〈ある点から物体が四方へ広がる〉

(23)' 枝が張っている。

別義11：〈物体が平面状に広がる〉

(24)' 氷が張っている。

別義12：〈平面状の物の中心が盛り上がるようになり四方へ力がかかる〉

(26)' おなかが張る。

別義13：〈体の一部が強調され、大きく見える〉

(28)' エラが張る。

別義14：〈抽象物が大きくなる〉

(30)' 値が張る

4.2 「はる」の多義構造図

「はる」の多義構造の図を以下に示す。

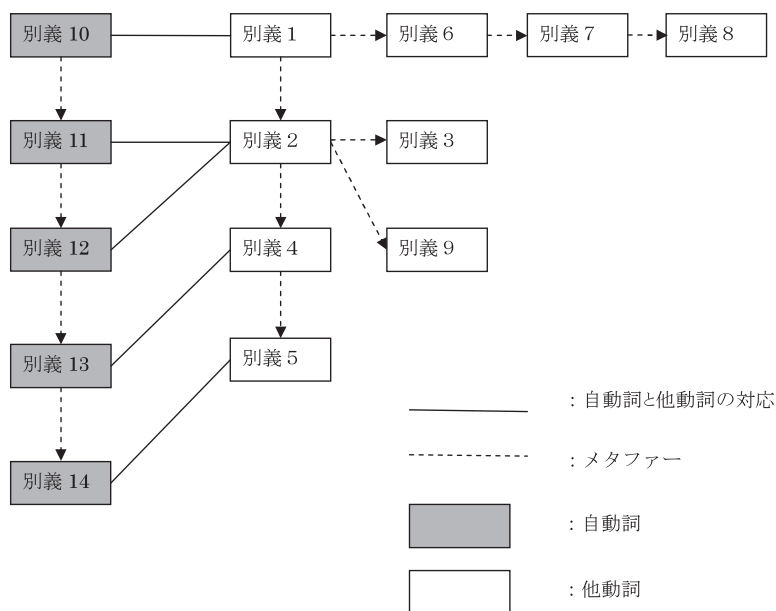


図2

5. おわりに

本稿では「はる」の意味分析を試みた。分析結果に基づき、自動詞「はる」は基点から4つの意味が、他動詞「はる」は基点から8つの意味が、派生していることが明らかになった。意味の派生を動機づけているのは、メタファーという比喩である。

6. 今後の課題

「試験のヤマをはる」などの慣用句の意味や複合動詞の「はる」の分析も必要だと考える。

注

- 1) 多義語について国広(1982)は次のように定義しており、本稿でもこれに従う。
「多義語」(polysemic word)とは、同一の音形に、意味的に何らかの関連を持つふたつ以上の意味が結びついている語を言う。(P. 97)
- 2) 舩山(1994)では「カタイ」の3種類の表記、「固い」「硬い」「堅い」を分析し、「カタイの意味の違い(多義的別義)」に対応しているとは言えない」としている。
- 3) 本稿では、意味をくゝで括弧で示す。
- 4) 実例についてはweb上に公開されている諸文書(検索エンジンgoogle (<http://www.google.com/intl/ja/>)にて検索)を参照した。分析対象語には下線を引いた。
なお、文脈を要しない慣用的な表現については出典は明示していない。
- 5) 例文は意味の理解に障害が出ない程度に省略した。

引用文献

- 国広哲弥(1982)『意味論の方法』大修館書店
国広哲弥(2006)『日本語の多義動詞—理想の国語辞典Ⅱ』大修館書店
舩山洋介(1994)「形容詞「カタイ」の多義構造」日本語・日本文化論集第2号 名古屋大学留学生センター
舩山洋介(2001)「多義語の複数の意味を統括するモデルと比喻」山梨・辻・西村・坪井編『認知言語学論考』
No. 1. 29-58 ひつじ書房

辞書類

小泉保・船城道雄・本田晶治・仁田義雄・塚本秀樹編(1978)『日本語基本動詞用法辞典』初版

用例出典

() 内に URL を示したもの: (google (<http://www.google.com/intl/ja/>)) にて検索